

■英国：大手事業者 SSE 社が再エネ事業を分社化

2018年11月14日のエネルギー専門サイトによると、英国の大手エネルギー供給事業者「ビッグ6」のひとつである SSE は再生可能エネルギー部門を分社化して、SSE Renewables とすることを決定した。SSE は今回の分社化について、SSE のビジョンである低炭素社会の中でリーディングカンパニーをめざすことと合致したものとしている。SSE Renewables は陸上／洋上風力、水力（揚水を含む）をカバーすることになり、2019年3月末の時点で400万kWの再生可能エネルギー設備の運営を行うことになる。このような分社化により、再生可能エネルギー事業に集中した経営が可能で、再エネに関する包括的な運営や報告を行うことで、事業の透明性を高めることが可能となる。またファイナンスの面でも SSE の資本力に加えて、近年発行量が拡大しているグリーンボンドを通じて資金提供を受ける可能性もある。さらに、これまで英国とアイルランドで事業を行っているが、市場を拡大する方向で検討しており、第三者とのパートナーシップの構築や戦略的な提携を検討する意味でも、再生エネルギーの専門会社として機動的に活動できることになる。